

11月8日[Sat]

多久聖廟で“風景を、聴く”



▲生演奏と現代アートを直に味わう特別な時間となりました

現代アートと優美な音楽を多久聖廟で堪能できる「風景を、聴く」(共催：多久市、SHIKIORI、YAMAGAMI YUKIHIRO STUDIO)が開催されました。県文化芸術祭「LiveS Beyond II」採択事業で、昼・夜各回40席限定。市内外からの来場者が、普段は非公開の廟内へと集いました。

荘厳な佇まいが演出する廟内には、松永誠剛さんによるコントラバスと吉岡美湖さんによるアコーディオンの旋律が響き、ヤマガミユキヒロさんの絵画が音によって生き生きと映写。最後に扉が開かれると光が差し込み、幻想的な雰囲気となりました。

市外からの来場者は「初めて廟内に入り、特別なアート体験ができました」と、豊かな時間を楽しめました。

11月8日[Sat]

八幡神社でわいわいマルシェ開催



▲マルシェには、子どもからお年寄りまで多くの人が訪れました

八幡神社で新しいイベントとして「八幡神社でわいわいマルシェ」(主催：八幡神社でわいわいマルシェ実行委員会)がにぎやかに開催されました。

マルシェには、多久市の事業者を中心に約20店舗が出店。キッチンカーなどの飲食店、ハンドメイドショップ、ワークショップなどが並びました。マルシェを主催した実行委員会の廣橋時則さんは「小さい頃に遊んでいた八幡神社がもっと人が集まり、盛りあがる場所になって欲しい」とイベントを開催したきっかけを話されました。

東多久町から訪れた男性は「地域の八幡神社でイベントが開催されると聞いて参加しました。地域の新たなイベントとして、これからも続いてほしいです」とにこやかに話されました。

11月15日[Sat]~16日[Sun]

第21回 多久市文化祭り



▲ドラや太鼓の勇壮な響きに合わせた躍動感のある大獅子

第21回多久市文化祭り(主催：多久市文化連盟)が多久市中央公民館で開催され、30団体以上が展示発表と芸能発表を行い、日ごろの成果を披露されました。

書や服飾手芸、華道などの作品展示に加え、ステージでは楽器演奏や孔子の里芸能保存会、多久ミュージカルカンパニー(TMC)、多久ちんどん芸能隊などが出演したほか市民劇場が開演され、来場者は多久の文化芸術に触れました。

文化連盟の野田勝人会長が「日々の自己研鑽とたゆまぬ努力に、心より敬意を表します。これからも文化の振興によって、地域活性への原動力になってほしいです」と文化の振興・向上への思いを話されました。

市報たく
No. 775

令和8年

もくじ

- 04 まちの話題
- 06 多久市からのお知らせ
- 13 あじさいへ行こう！
- 14 教育委員会だより
- 17 健康ノススメ
- 18 おたっしゅだより
- 20 まちのPickUPインフォメーション
- 24 ウォールアート ほか

今月の論語

君子は坦かに蕩蕩たり
小人は長えに戚戚たり

君子坦蕩蕩、小人長戚戚。

出典…述而第七

君子はのんびり、しかもゆったりしている。心のせまい人はいつまでもこせこせくよくよしている。

今月の帰宅放送は、
東原彦舎中央校9年の
田中 莉央さんです。



多久市公式
X (旧Twitter)



多久市公式
YouTube



多久市公式
Instagram



多久市公式
Facebook

